

なか・きた通信



2018 . 3

No.22

中小企業経営者と支援機関で真剣に議論しています！

中小企業の人材育成・確保・定着の課題解決に向けた検討の「中間のまとめ」と、平成29年度「企業アンケート」の結果について

○都内の経済情勢は回復基調で、雇用情勢も改善している中、大企業は確実に人材を確保している一方、中小企業は人材の確保が難しい状況です。また若年在職者の離職率が高い反面、多くの若年者は仕事を通じて成長したいと考えています。

○こうした状況を踏まえ、平成29年度の「中央・城北職業能力開発連絡協議会」と、若手経営者等で構成する「勉強会」で、地域の中小企業・公的機関等が連携し、人材の確保を第一に、定着率の向上と人材の育成も併せて一体的に課題を解決する方策について、検討を重ねてきました。

○また、昨年「平成29年度 人材育成・確保に関する企業アンケート」を実施しました。

今回は、「中間のまとめ」の概要と「企業アンケート」の結果を併せ、人材に関する中小企業の課題や、課題解決の方向性についてお示しします。

●企業アンケートの概要●

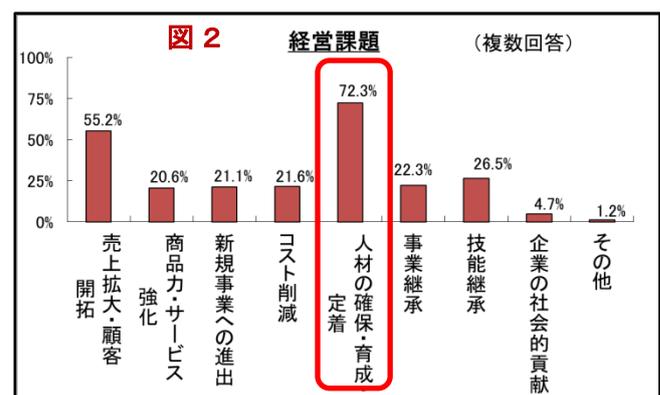
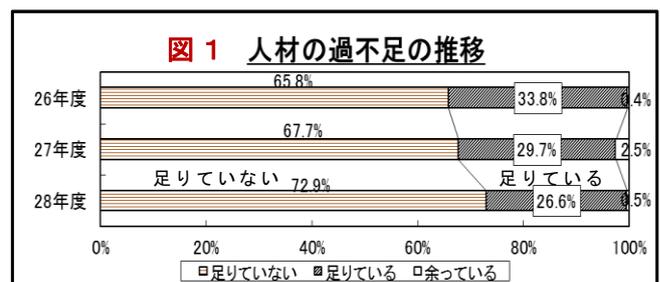
調査時期 平成29年9月19日（火）～ 10月20日（金）
 調査対象企業 中央・城北地域の中小企業3,000社を総務省データからランダムに抽出
 業種 建設業、製造業、情報通信業、学術研究・専門技術、医療・福祉、サービス業等
 有効回答数 430社

【中小企業の多くが“人材”を経営課題に】（図1、図2）

まず、約7割の中小企業が人材不足の状態であり、その状況は年を追うごとに深刻さを増しています。このため、中小企業の多くが、経営課題として「人材の確保・育成・定着」を挙げています。

こうした状況を踏まえ、「中間のまとめ」では、人材の確保を第一に、育成・定着も重要な課題として一体的に取り組むことで、現在の景気回復軌道に乗って成長を確保するとともに、生産年齢人口の減少も視野に、将来の景気動向に左右されない足腰の強い経営を実現できるとしています。

これらの課題解決に取り組む中小企業を支援するため、国・東京都・各区などの公的支援の情報を整理し、情報の集約と発信の強化を図り、活用の促進を進めることとしています。

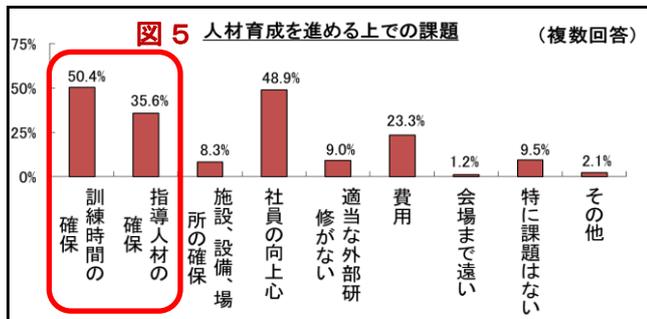
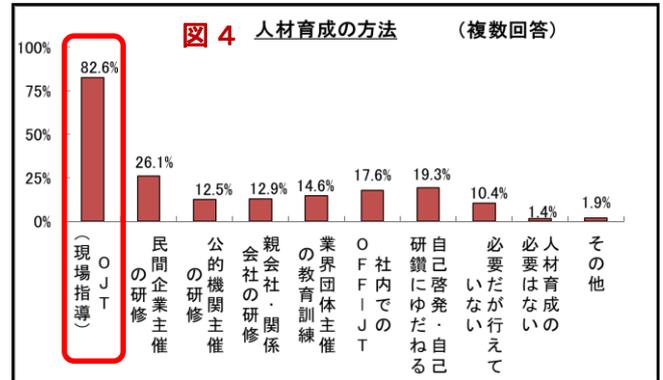
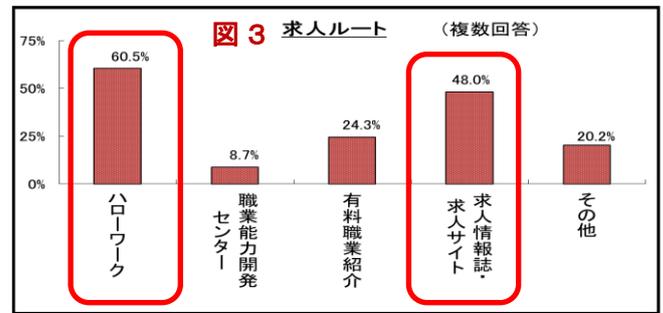


【人材の確保】(図3)

多くの企業が「ハローワーク」や「求人情報誌・サイト」を利用しています。

「中間のまとめ」では、人材が十分確保できていない状況にあるのは、求人票によるアピール力の不足や、中小企業の魅力が十分知られていないことが主な原因としています。このため業界・企業が連携し、WebやSNS等でのPRを強化することが大事であり、例えば若手社員の活躍などを動画で紹介するなど、リアル感あるPRが有効です。

その他、インターンシップや会社見学への取組など、応募を待つのではなく、求職者に対して積極的に自社の魅力をアピールする「攻めの採用」や、経営者自らが企業説明会・面接会で「経営理念」などを説明し、求職者の共感を得ることや、採用時のコミュニケーションが重要です。

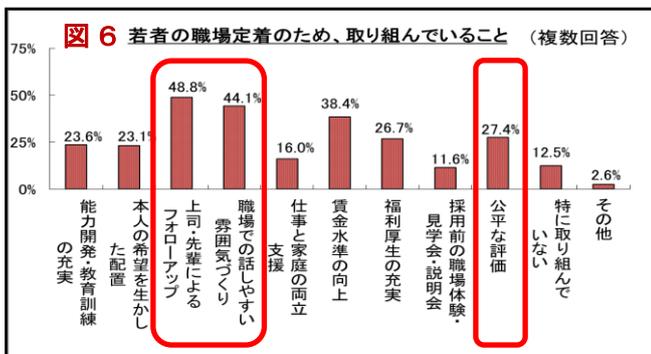


【人材の育成】(図4、図5)

多くの企業が「OJT」により人材を育成していますが、「時間が確保できない」、「指導する人材が確保できない」といった課題があります。

「中間のまとめ」では、OJTで指導的立場にある社員が、OJTを「仕事に必要な技術・技能を覚えさせるだけでなく、若手社員が自ら考え、課題を抽出・解決策を提案できるよう育成する場と認識する」ことが大事であり、指導的立場の社員をフォローすることも重要としています。

また、人材を効果的に育成するため、経営理念に基づいた人材育成カリキュラム・体系を構築し、明確な目標を持ち、計画的に育成することも大事です。育成した社員の力を企業の成長に結びつけるため、経営理念の社内浸透も重要です。



【人材の定着】(図6)

「上司・先輩によるフォローアップ」や、「職場での話しやすい雰囲気づくり」に取り組む企業が多くなっています。また、「公平な評価」、「賃金水準の向上」、「福利厚生充実」を挙げる企業も少なからずあります。「中間のまとめ」では、若者の就労意識調査で「仕事を生きがいとしたい」などの意向が多いことなども踏まえ、「社員を大切にしている企業」「経営者と社員の距離が近い職場」「ガラス張りの経営」「風通しのよい職場」を作り上げることが重要であり、経営理念に基づいて社員に分かりやすい評価制度の構築、評価結果に基づく育成等が社員の定着に結びつくとしています。

上記に挙げた人材に関する様々な課題の解決に向け、具体的な取組ノウハウを各中小企業と行政機関等が共有することが重要です。

今後、「中間のまとめ」の議論を更に深め、「報告書」を作成します。行政機関の事業化、先駆的事例の提示などにより、人材の確保・育成・定着に取り組む中小企業を力強く支援していきます。



☆☆ 人材アドバイザーが行く ☆☆

企業の人材育成をお手伝いしました

人材アドバイザーは各企業様を訪問し、その相談等に応じ各種人材育成支援策等についてご紹介しております。お気軽にご相談ください。
(Tel. 03-5800-2611)

◆◆ セントラル硝子工事株式会社様 ◆◆ - 第1回 -

人材育成の取り組みとして昨年「現場訓練支援事業」と「東京都建設人材育成事業」をご利用されたセントラル硝子工事株式会社様をご紹介します。(二つの事業は P.4 にて紹介)



「すぐに役立つマナー講座」の様子

●開催記録●

- 1.現場訓練支援事業：「新入社員研修 すぐに役立つマナー講座」 平成 29 年 4 月実施
- 2.東京都建設人材育成事業：「2 級建築施工管理技士(学科)受験対策」 平成 29 年 5 月、6 月
- 3.現場訓練支援事業：「2 級建築施工管理技士技術検定試験準備講座」平成 29 年 9 月、10 月

■今回は東京都の事業をお選びになった理由、ご意見・ご希望等を伺いました。

ご出席：代表取締役社長 木下俊哉様、総務部長 松村哲孝様

●東京都の事業をお選びになった理由

- ・人材育成はこれまで系統立てた教育ができず各人の自己啓発・自己研鑽に委ねてきたが、各種資格試験の難易度が上がり個人対応では間に合わなくなった。
- ・対費用効果を含め、効果的な研修を探していたところ、人材アドバイザーの訪問により東京都の人材育成事業を知ることができた。

●受講されたご感想

- ・希望する内容・目的に合わせて、研修内容、時間配分等を設定してもらえた。(現場訓練支援事業)
- ・社内メンバーでの受講のため、競争心と連帯感がほどよくミックスされていた。(現場訓練支援事業)
- ・指導内容が的確で効率的、社外の方たちとの受講のためモチベーションが上がった。(建設人材育成事業)

●ご意見、ご希望

- ・定着率向上のためには継続した教育が必要。
- ・技能継承が緊急課題であり社命として取り組みたい。
- ・来年度以降も職業能力開発センター等東京都の事業を利用したい。

◆会社紹介◆

セントラル硝子工事株式会社

〒168-0063 東京都杉並区和泉2-7-21

☎ 03-5301-3200

Fax 03-5301-3208

事業内容：建築ガラスの工事請負、施工

記事で取り上げた事業のご紹介（3ページ掲載）

現場訓練支援事業

社内研修の講師を派遣します

⇒詳細は当センターにお問い合わせください。（電話：03-5800-2611）

対象	都内の中小企業・中小企業団体等
人数	1名以上
訓練時間	同一年度内に延べ40時間まで
費用	以下の謝金を企業と都が半額ずつ講師に支払います。 ・指導計画書作成⇒1回の支援につき6,400円（企業負担3,200円） ・訓練実施⇒講師1名・1時間につき6,800円（企業負担3,400円）
教科書等	講習開始までに材料、教科書等を準備していただく場合があります

建設人材育成事業

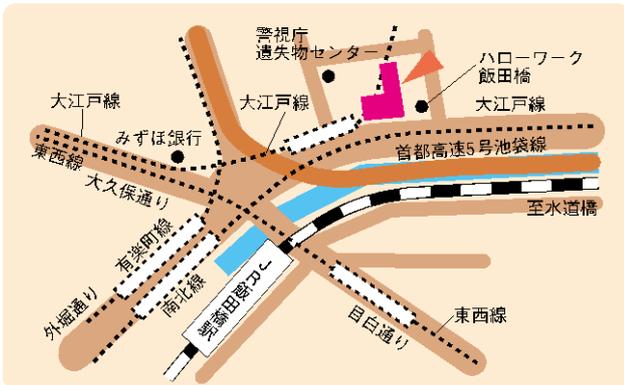
建設現場で求められる資格の取得等を目的とした在職者向けの講習実施コースは「一般技能士コース（とび科）」、「1級建築施工管理士（実地）受験対策」など

⇒詳細はTOKYOはたらくネット <http://www.hataraku.metro.tokyo.jp>
トップページ>在職者向け職業訓練>建設人材の育成 からご参照ください

東京都立中央・城北職業能力開発センター 各校所在地

中央・城北職業能力開発センター

〒112-0004 文京区後楽1-9-5 ☎(5800) 2611(代) FAX(5800) 3241
都営大江戸線飯田橋駅下車C2 徒歩1分
JR総武線・東京メトロ東西線・有楽町線・南北線飯田橋駅下車 徒歩5分
<http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/vsdc/chuo/>



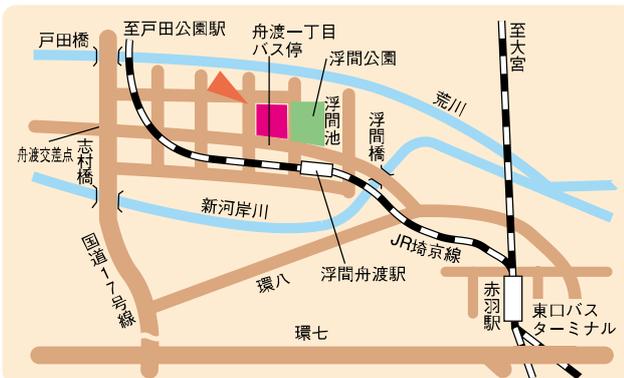
中央・城北職業能力開発センター 高年齢者校

〒102-0072 千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター(10～12階)
☎(5211) 2340(代) FAX(5211) 2344
●丸の内線地下車徒歩7分 JR有楽町線(東口)、都営地下鉄大江戸線 東京外口有楽町線 南北線 A2、東西線 A5
●水道橋駅下車徒歩7分 JR有楽町線(西口) ●九段下駅下車徒歩10分 都営有楽町線 東京外口有楽町線(3番)、東西線(7番)
<http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/vsdc/kounenrei/>



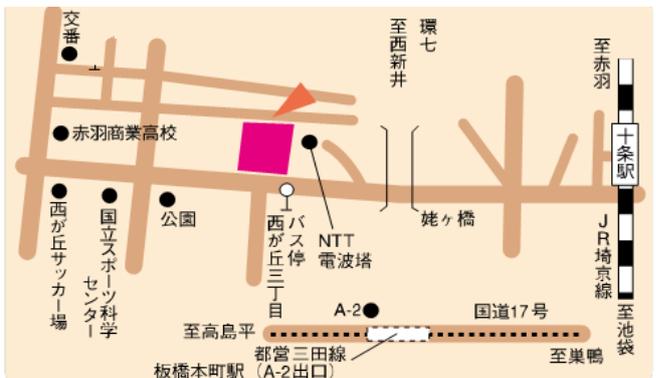
中央・城北職業能力開発センター 板橋校

〒174-0041 板橋区舟渡2-2-1 ☎(3966) 4131(代) FAX(3966) 3161
JR埼京線 浮間舟渡駅下車 徒歩3分
<http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/vsdc/itabashi/>



中央・城北職業能力開発センター 赤羽校

〒115-0056 北区西が丘3-7-8 ☎(3909) 8333(代) FAX(3906) 2544
JR埼京線 十条駅下車 徒歩15分 都営三田線 板橋本町駅下車 徒歩12分
JR 王子駅北口からバス赤羽駅西口行乗車、西が丘三丁目下車 徒歩1分
JR 赤羽駅西口からバス王子駅行乗車、西が丘三丁目下車 徒歩2分
<http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/vsdc/akabane/>



発行／
都立中央・城北職業能力開発センター人材育成課
〒112-0004 文京区後楽1-9-5
電話番号 03-5800-2611(代)